幻の広浜鉄道　遺構今福線について　その３

嘉藤太史

１．はじめに

今福線研究分科会も 3 年度目となった。今年度の目標は今福線マップの作成である。これは昨年度、地元との懇談会「今福線を考える会」で私共から地元へ提案したものである。

今福線は地元では比較的知られてはいるが県内でみた場合、知っているのは一部の人間に限られる。また、一部の専門誌「消えた鉄道実施踏査 60　鉄道廃線跡を歩くＶ」宮脇俊三編著、「「夢破れて消えた鉄道計画線実地踏査　鉄道未成線を歩く　国鉄編」森口誠之著に詳しく記述はあるが、全国規模では知る人は殆どいないのではないかと考えられる。

このため、今福線の土木遺産としての重要性と今福線にかける地元の意気込みを全国に伝えるため、今福線マップを作成しこれをネット上に流すということにしたわけである。ネット上に配信できる程度のマップを作成するため、皆で取り組んだものである。

２．活動内容

今年度の活動内容は下記のとおりである。

（１）打合会

今福線マップ作成に向けた方針を協議するため、打合会を平成 24 年 6 月 23 日(土)に開催した。以下はその内容である。

①マップ作成範囲は、トンネル、橋脚、橋台、橋梁が現存するＪＲ下府駅から今福の間とする。

②過去の踏査データを整理し不足箇所は再踏査で補う。再踏査予定日は 11 月 10 日(土)及び 11 日(日)とする。

③要所要所での写真には解説文を付ける。

④今後の更新作業を考え、修正し易いデータベースとする(エクセル、Vnas)。

（２）浅利寺住職との懇談会

翌 7 月 14 日に浅利寺住職と懇談会を行った。当会からは 5 名が出席した。住職は元ＪＲ職員であり今福線のみならず鉄道に関して知見の豊富な方であり、様々なお話しを伺うことができた。

（３）今福線研究のテレビ紹介（ＮＨＫ）

9 月 28 日夕方、ＮＨＫ「島根の遺産」という特集のなかで今福線研究の模様が放映された。「島根の遺産」とは物的遺産、人的遺産を問わず島根の誇れる遺産を紹介する内容である。

限られた時間ではあったが今福線の土木遺産としての重要性と今後のあり方について沢山の方に伝えられたのではないかと考えている。またこのような機会を与えて戴いたＮＨＫにお礼申し上げる。

（４）現地踏査

11 月 10 日(土)及び 11 日(日)にデータの補足調査を目的に行った。マップに載せるための重要な写真やデータを得るため、今までとは違う緊張感があった。

鉄道跡地確認のため伐採

橋台沓座モルタルの確認中

作成方針について協議

（５）今福線マップの地元への説明

12 月 22 日(土)に、お世話戴いている石本さんへマップの説明を行った。この日はマップ作成の先導を担って戴いている班長さん 3 名と私の 4 名でお伺いした。

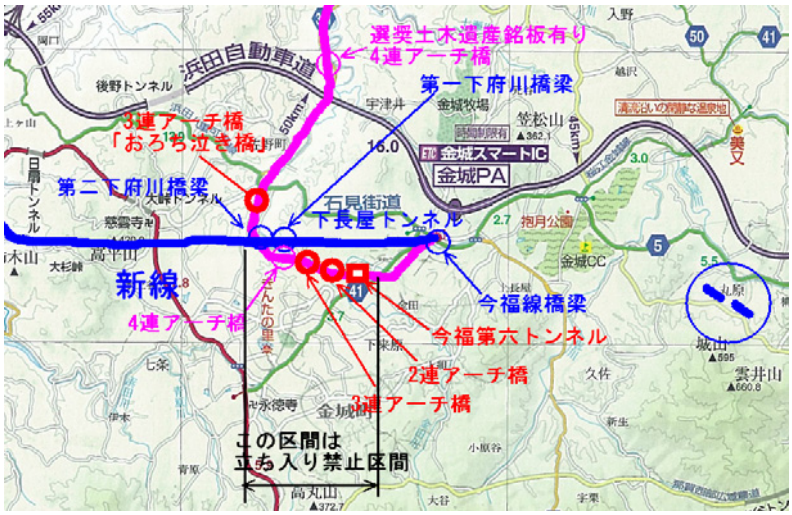
冒頭で石本さんより、10 月に「秋の史跡探訪」という会を開催し、愛好者十数名とマイクロバスにのり、今福新線の出来るはずだった現在の浜田駅から丸原のトンネルまで巡ったとのことだった。案内は自ら、と

のことであり、そのエネルギッシュさに驚いている。

石本さん(左席)を囲んでマップの説明の様子

当会から提示したマップについて様々な注文を頂いた。例えば、訪問客が一旦車を止めるための道路際のちょっとした駐車スペースが抜けているという指摘等、まさに生き字引のような方である。今後、後継者を育てていきたい、とのことであるがビシビシ鍛えられそうである。

また、下長屋トンネル(新線)と今福第六トンネル(旧線)を繋ぎ馬車による散策道を提案されるなどの考えをお持ちであった。



確かにこの繋ぎは散歩道として最適な場所であるが、トンネルや第一下府川橋梁の老朽化対応、旧線の整備(伐採、路面補修)等金銭的な面で地元や当会だけではどうにもならない懸案事項がある。

3．おわりに

今後の方針について考えを述べる。

（1）マップ

これについては HP をご覧頂きたい。現在、調整中で出来次第アップする予定である。完成の域ではないが今福線の全貌が皆さん方に伝わるのを期待したい。また、来期もう 1 年かけてマップの充実を図りたいと考えている。皆さんからのご意見等お願いしたい。

（２）下長屋トンネルの踏破

下長屋トンネルは全長 1.6㎞ と比較的長いトンネルである。しかし、過去何度か踏査に来たにも関わらず一度も踏破をしていない。トンネルの有効利用案を模索するために現状を知ることは是非とも必要な作業である。

（３）公的機関への働きかけ

マップによりどの程度、今福線が周知されるかは未知数であるが管理者である地元自治体への働きかけが出来れば、と思う。トンネルや橋梁等、維持管理費が必要であるがそれを拠出するのは地元自治体である。

現在在るトンネル、橋梁は立ち入り禁止となっている危険箇所が多い。また、鉄道敷地跡となっている所も草木が繁茂し人が通るには危険であり、観光客を呼び込むためにも整備が必要となる。お客が来る(お金が落ちる)のが先か整備が先(先行投資)か、分かれるところであるが地元自治体の積極的な関与を期待したい。

（４）イベントへの参加

過去、地元有志による今福線巡り等のイベントが行われている。今後、このようなイベント予定があれば参加したいと考えている。その際は、当会の特徴を発揮すべく様々な観点から提案を行い、少しでも貢献できればと考えている。

以上